

2023年3月期 通期 決算ハイライト

ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード：6803

2023年5月12日

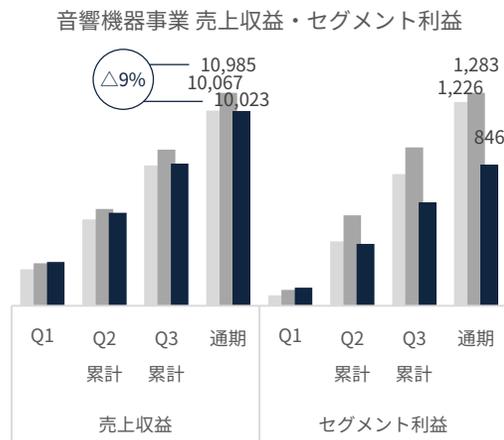
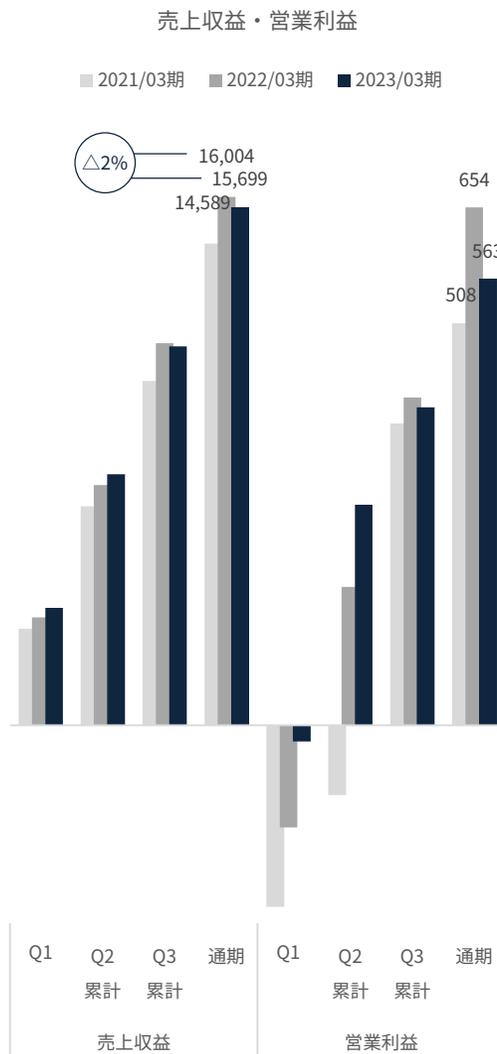
2023/03期 通期 業績概要

- 2023/03期 通期は前期比減収減益。2022年5月発表の業績予想に対し利益は上振れ。自己資本比率は復配基準とした25%を達成

	2022/03期 通期	2023/03期 業績予想	2023/03期 通期	前期比	2022年5月 業績予想比	(百万円)
売上収益	16,004	16,100	15,699	△ 305 (△ 1.9%)	△ 401 (△ 2.5%)	<ul style="list-style-type: none"> • BtoB事業とハイエンドオーディオ機器は順調に成長。普及価格帯BtoC製品の需要が欧米で想定以上に減少
営業利益	654	430	563	△ 91 (△ 13.9%)	+ 133 (+ 31.0%)	<ul style="list-style-type: none"> • 事業構造改革により売上総利益は増益も、販売促進活動の再開と円安進行により支出増となり前期比減益
税引前利益	481	300	341	△ 140 (△ 29.1%)	+ 41 (+ 13.8%)	<ul style="list-style-type: none"> • 通期で52百万円の為替差損が発生し前期比減益 <ul style="list-style-type: none"> - 詳細は「金融収益（為替差益）の計上に関するお知らせ」（2023年5月12日発表）をご参照ください
当期利益	392	200	305	△ 86 (△ 22.0%)	+ 105 (+ 52.7%)	<ul style="list-style-type: none"> • 前期比減益
資本合計	2,468		3,112	+ 644 (+ 26.1%)		<ul style="list-style-type: none"> • 為替換算調整勘定が258百万円増
自己資本比率	24.5%		28.4%	+ 3.9ppt		<ul style="list-style-type: none"> • 中期経営計画にて復配実施基準とした25%を達成
フリー キャッシュフロー	△ 289		192	+ 481		<ul style="list-style-type: none"> • 2期ぶりの黒字化

2023/03期 通期 セグメント別業績

(百万円)



その他

・ ハイエンドオーディオ機器 (ESOTERICブランド)

- 上半期にはブランド創設35周年記念のターンテーブルやパワーアンプ、また下半期にはSACDプレーヤーやセパレートアンプなど新製品を多数上市。国内市場は輸入ブランド製品の供給も安定し収益に寄与。海外市場では、中国、欧州で減収となったが全体では国内市場での販売が大きく伸び、前期比増収

・ プレミアムオーディオ機器 (TEACブランド)

- 国内、海外市場双方においてインフレ圧力やウクライナ危機に端を発する資源価格の高騰などが景気後退懸念として消費者心理に影響を与え、普及価格帯製品の売上が減少した結果、前期比減収

・ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)

- BtoB事業は、通期に渡り設備向け定番製品の販売が安定した事、第4四半期に業務用デジタルミキサーの海外出荷を開始した事、更には関連オプション製品の出荷開始による新製品効果もあり販売は好調に推移
- BtoC事業は、第4四半期に出荷開始したハンドヘルドレコーダーの新製品効果と前期末に上市した製品の販売が好調に推移したものの、前期売上を牽引した主力製品が、巣ごもり需要の反動減により低調に推移。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては前期比減収

・ 計測機器関連

- データレコーダーは市場の回復基調が見られ、国内・海外共に出荷が好調に推移。センサーおよびデジタル指示計においては、半導体製造装置市場の好況により出荷増。大手プローブ装置メーカー向け出荷が当初計画を上回る水準で推移し、加えて下半期からはシリコン製造装置関連メーカーからの受注も大きく伸び、結果として計測機器全体では前期比大幅増収

・ 医用画像記録再生機器

- 国内の消化器内視鏡向けレコーダーの販売が好調に推移、手術画像用レコーダーに関しても国内・海外共に好調を維持。新製品の4Kレコーダーは市場での評価も高く販売は好調に推移、また海外大手内視鏡メーカーへのOEM契約も決定。結果として医用画像記録再生機器全体では前期比増収

・ 機内エンターテインメント機器

- 国内市場では保守サービスを中心に販売を積み重ね、海外向け販売も保守用部品の出荷が好調に推移。また第4四半期には国内エアラインでの機内エンターテインメント用サーバーの全路線への導入もあり、結果として機内エンターテインメント機器全体では前期比増収

・ ソリューションビジネス

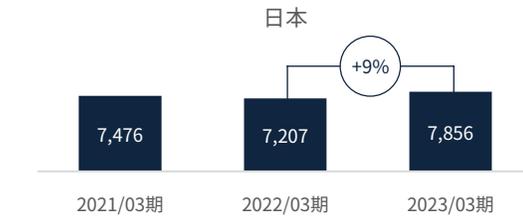
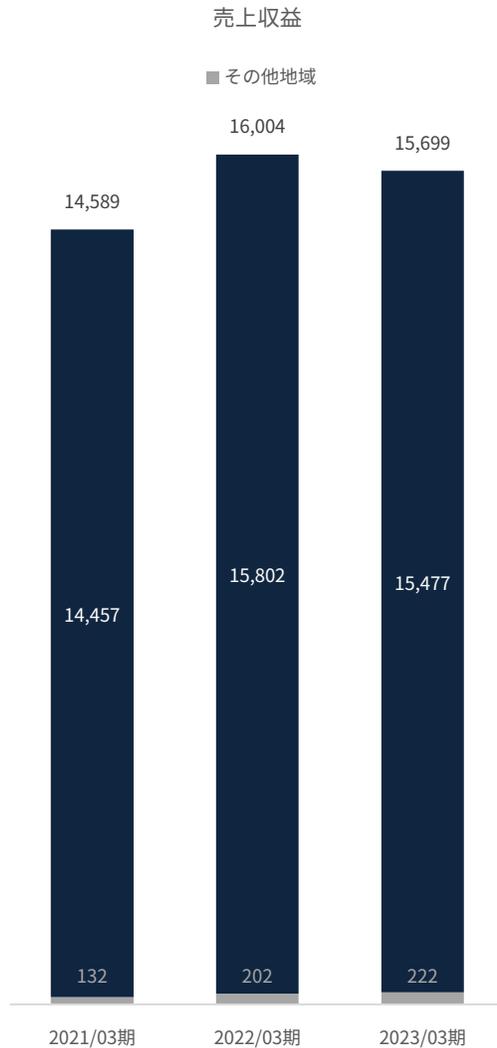
- ネットワーク・インフラの保守サービスや受託開発案件の積み重ねおよび年間を通した医用向けサーバーの出荷が好調に推移したことから前期比増収

- 前期比減収増益

注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2021/03期ならびに2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」に含む

2023/03期 通期 地域別業績

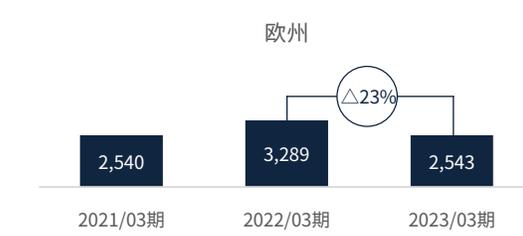
(百万円、+は前期比増収、-は同減収)



- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器、ソリューションビジネス
 -



- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器
 -



- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器
 - 計測機器



- 音響機器事業
 - + 業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器
 -

註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2021/03期ならびに2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」に含む

2023/03期 通期 セグメント別・地域別構成比

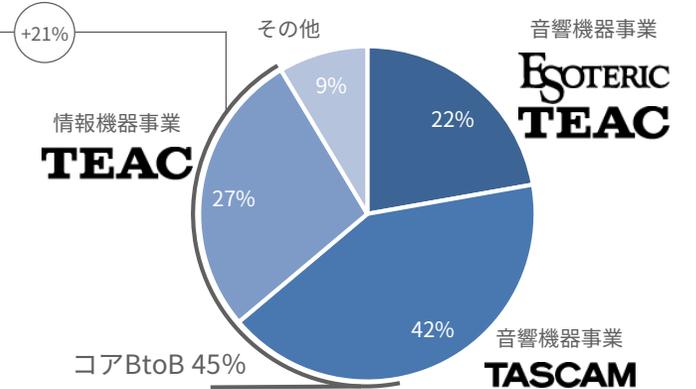
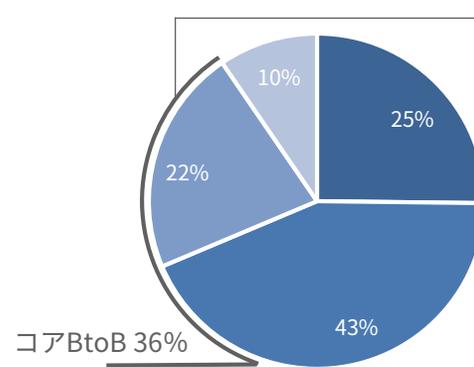
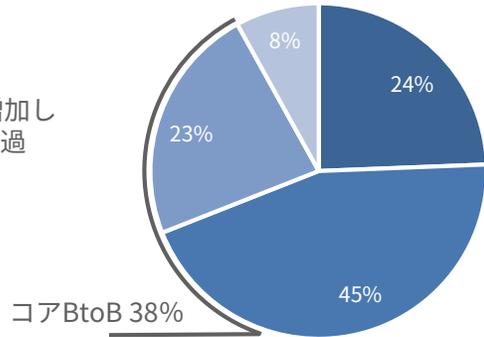
2021/03期 売上収益
14,589百万円

2022/03期 売上収益
16,004百万円

2023/03期 売上収益
15,699百万円

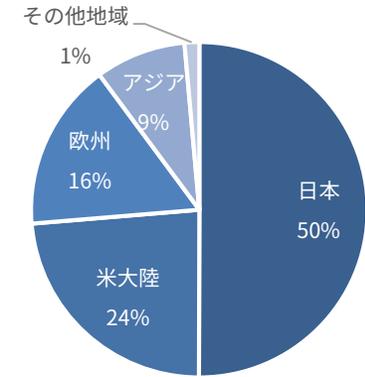
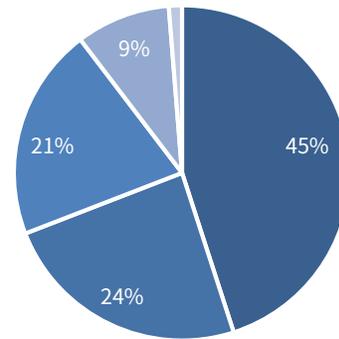
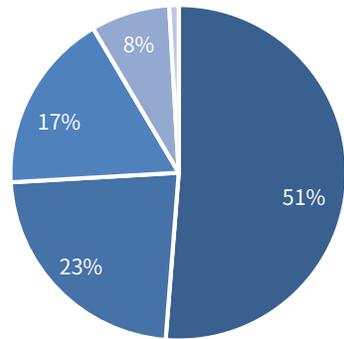
■ セグメント別

- BtoBは+ 21%増収
- BtoB比率は+ 9ppt増加し
中計目標の42%を超過



■ 地域別

- 国内比率は+ 5ppt増加
- 欧州比率は△ 5ppt減少



註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2021/03期ならびに2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」に含む

2023/03期 通期 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

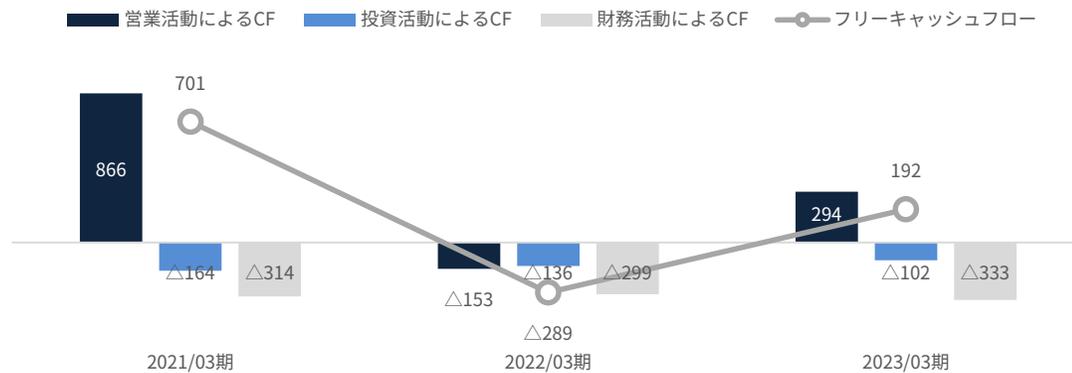
(百万円)

自己資本比率



- 資本合計：前期比+ 644百万円 (+ 26.1%) 増
- 自己資本比率：前期比+ 3.9ppt増

フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：営業キャッシュフローは294百万円の黒字。フリーキャッシュフローは前期比+ 481百万円増加の192百万円と2期ぶりの黒字化

2024/03期 業績見通し

■ 2024/03期 通期は、前期比増収増益を見込む

	2023/03期	2024/03期 予想	前期比	(百万円)
売上収益	15,699	17,000	+ 1,301 (+ 8.3%)	<ul style="list-style-type: none">新製品の適時導入と製品ポートフォリオ再編の加速、当社が比較優位性を持つ製品の価格改定の実施、主要市場における販売体制の再構築を進め増収を計画
営業利益	563	600	+ 37 (+ 6.5%)	<ul style="list-style-type: none">インフレ、投資停滞、流通在庫の滞留などのリスクに対応すべく、デジタルとリアル両面でマーケティング投資増を計画
税引前利益	341	400	+ 59 (+ 17.2%)	<ul style="list-style-type: none">増益計画
当期利益	305	320	+ 15 (+ 4.8%)	<ul style="list-style-type: none">増益計画
資本合計	3,112	-	-	
自己資本比率	28.4%	-	-	
フリー キャッシュフロー	+ 192	-	-	

■ 新中期経営計画 B-7030計画 財務目標進捗状況

- BtoB事業は、情報機器が最終年度計画を上回る売上収益を達成、音響機器の業務用オーディオ機器も前期比+20%成長を遂げ、順調に事業拡大中
- BtoC事業は、プレミアムオーディオ・音楽制作オーディオとも高価格帯シフトは計画通り進捗も、普及価格帯製品の巣ごもり需要一巡の影響大
- 自己資本比率は、復配基準としていた25.0%を上回る28.4%を達成した為、1株当たり1.00円の復配を実施予定。目標の30.0%達成へ順調に進捗

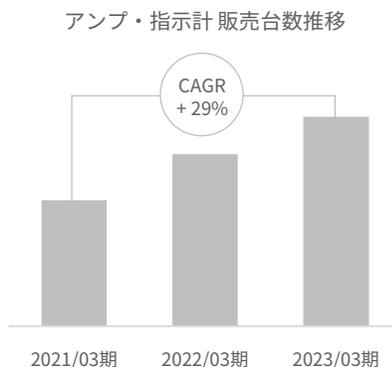
	2022年3月期	2023年3月期	2025年3月期	2023年3月期時点 中期計画進捗率	
	実績	実績	中期計画		
売上収益	16,004	15,699	17,500	89.7%	方針であるBtoB事業と高価格帯BtoC製品へのシフトは順調に進捗
音響機器事業	10,985	10,023	13,000	77.1%	BtoBと高価格帯BtoCは成長も、普及価格帯製品需要が想定以上に減少
情報機器事業	3,493	4,329	4,200	103.1%	最終年度計画達成。計測機器・医用画像記録再生機器が大幅成長
その他	1,527	1,347	300		
セグメント利益	1,623	1,453	2,100	69.2%	売上総利益率は改善し増益基調ながら、販促活動再開で支出増
音響機器事業	1,283	846	1,600	52.9%	広告宣伝・販売促進関連支出増
情報機器事業	169	352	500	70.4%	計画達成へ順調に進捗
その他	171	255	0		
営業利益	654	563	1,100	51.2%	2023/03期は円安により計画比△170百万円の為替影響（損）発生
ROE	18.2%	10.9%	17.0%	△ 6.1ppt	期中平均自己資本は前期比634百万円増加
自己資本比率	24.5%	28.4%	30.0%	△ 1.6ppt	計画達成へ順調に進捗
フリーキャッシュフロー	△ 289	192	800	24.0%	普及価格帯BtoC製品の在庫が計画を超過し営業CFを圧迫
BtoB比率	35.6%	45.3%	42.0%	+ 3.3ppt	最終年度計画達成。足元で減収となったBtoCと同率へ上昇

■ BtoB事業 各中期事業方針と取組み状況

■ 情報機器事業 計測機器（TEACブランド）

- アンプ・指示計のグローバルトップへ

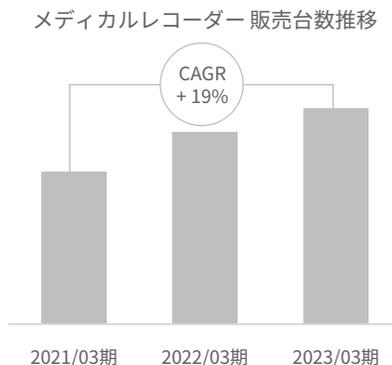
- 出荷台数は過去最高
- 大手プローパー装置メーカー向け出荷好調に加え、シリコン製造装置関連メーカー向けが伸長



■ 情報機器事業 医用画像記録再生機器（TEACブランド）

- 世界の手術室市場での採用に向けたレコーダーのラインナップ展開

- 出荷台数は過去最高
- 新製品の4Kレコーダーは市場で高い評価を受け、海外大手内視鏡メーカーへのOEM契約も決定
- 海外売上比率は40%まで成長



■ 情報機器事業 インフライトエンターテインメント機器（TEACブランド）

- 航空機等の移動体エンターテインメント市場におけるシェア拡大

- 株式会社AIRDOへIFEサーバー『PortaStream™PS-V50』を納入
- インバウンド増加や国内旅行復調による国内エアラインや観光業界の投資需要に対応中



■ 音響機器事業 業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

- ミキサーを主体とした新たな事業軸を構築し、周辺機材とシステム販売

- 国内にて先行発売し好評を博したデジタルミキサーを海外でも発売開始
- 他の業務用オーディオ製品も需要が回復、BtoBカテゴリーは前期比+20%の増収



■ BtoC事業 各中期事業方針と取組み状況

■ 音響機器事業 ハイエンドオーディオ機器（ESOTERICブランド）

- 他ブランドの追従を許さない高音質オーディオ機器の更なる拡充

- ブランド初のアナログターンテーブル『Grandioso T1』を発売し、名だたる賞を受賞
- 他の主力カテゴリーも戦略製品の販売好調で、セグメント売上収益は過去最高



『Grandioso T1』

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器（TEACブランド）

- 各カテゴリーにおけるオンリーワン製品への戦略投資

- 欧州市場の低迷長期化により普及価格帯製品の売上収益は想定以上に減少も、高価格帯戦略を堅持しグローバルに収益構造改革を継続
- 国内外で好調のReference701シリーズにCDプレーヤー『VRDS-701』とCDトランスポート『VRDS-701T』を追加
- 米国Premium Audio Company, LLCが取り扱うKlipsch、Jamo、ONKYO、Integra及びPioneerブランド製品を日本国内で販売開始



『VRDS-701』

■ 音響機器事業 音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）

- 最高音質を求める世界中のクリエイター向けにソリューションを提供

- 32bitフロート録音対応のポータブルレコーダー『Portacapture』シリーズを拡充



- プロ品質での動画音声収録を実現するミラーレスカメラ対応XLRマイクアダプター『CA-XLR2d』シリーズを発売、対応カメラリストを順次拡大中



Canon Kit
CA-XLR2d-C



FUJIFILM Kit
CA-XLR2d-F



Analog Interface Kit
CA-XLR2d-AN

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- 時代を超えて蘇った、新開発のV.R.D.Sメカニズムを搭載した、ティアック渾身の70周年記念モデル『VRDS-701』を発売

70 years
1953 - 2023
TEAC



- ESOTERICの中核「Ultimate Five」シリーズ第3弾、スーパーオーディオCDプレーヤー『K-05XD』を発売

ESOTERIC

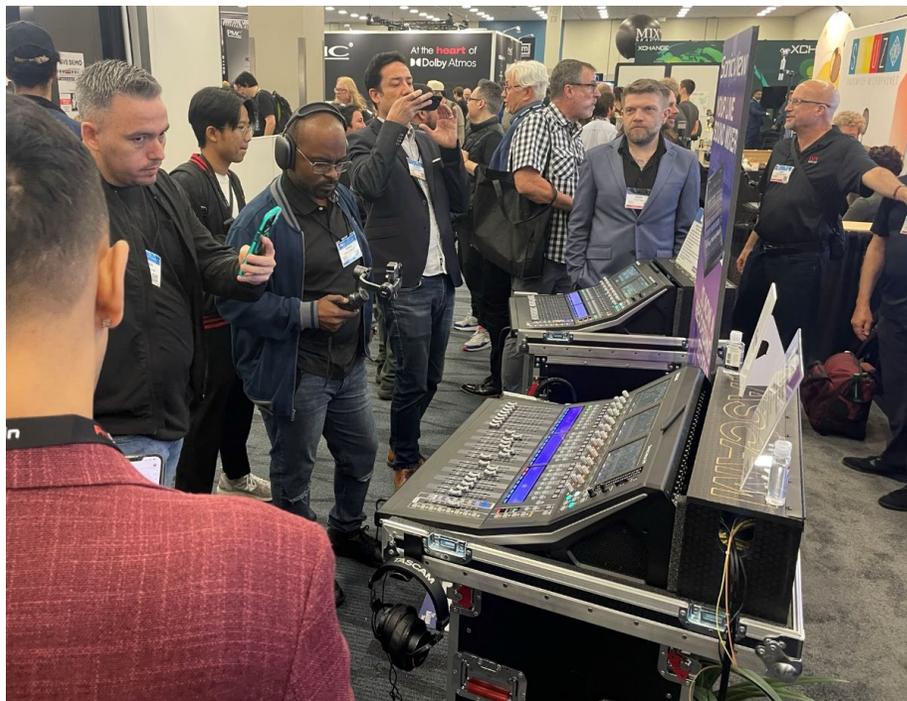


■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- 業界最大規模の楽器・音響機器展示会 NAMM Show（米国）に3年ぶり出展

カリフォルニア州アナハイムにて開催された楽器・音響機器の世界最大規模の展示会（2023年4月13日から15日まで）に2020年以来3年ぶりに出展。プロオーディオエリアにおいて、先ごろ海外出荷を開始した業務用デジタルミキサーTASCAM『Sonicview』シリーズを中心にネットワーク音声伝送技術Danteを搭載した音声コンバーターや業界で高いシェアを誇る定番のメディア録音再生機など幅広いシステムソリューションを展示。

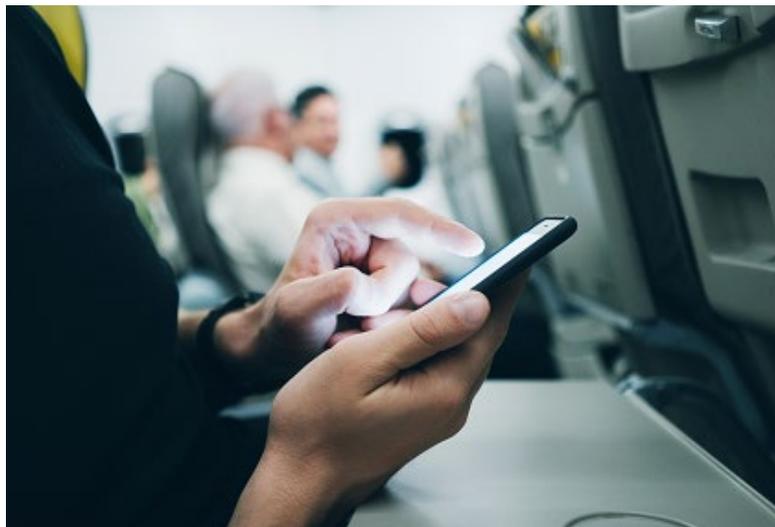
パンデミック明けの経済活動再開によりイベントや設備工事の需要が高まる中、当社ブースには米国はじめ世界各国からのプロユーザーが絶え間なく訪問



■ 情報機器事業 機内エンターテインメント

- 非接触型機内のエンターテインメントサーバー、『PortaStream™PS-V50』を株式会社AIRDOへ納入

AIRDOが4月1日から開始した機内エンターテインメントサービス「Do Sky On-Demand（ドゥスカイ オンデマンド）」のコンテンツ配信サーバーとして、『PortaStream™PS-V50』を採用。AIRDOは「北海道に対する思いやこだわりを形にしたコンテンツ配信を通じて、機内でも北海道を体験できる機会を提供していく」と、PortaStreamの導入効果に期待を寄せている



『PortaStream™PS-V50』

財務データシート (IFRS)

		2021/03期				2022/03期				2023/03期							
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4				
貸借対照表	流動資産	6,833	7,276	7,294	7,475	7,180	7,723	7,939	8,210	9,042	9,886	9,259	8,351				
	現金及び現金同等物	1,677	2,025	1,677	1,869	1,440	955	789	1,304	1,353	1,739	1,221	1,196				
	営業債権及びその他の債権	2,363	2,494	2,685	2,844	2,167	2,750	2,877	3,154	2,799	2,871	2,809	2,925				
	棚卸資産	2,563	2,538	2,677	2,454	3,211	3,651	3,893	3,400	4,566	4,998	4,877	3,862				
	その他の流動資産	229	218	256	307	362	366	381	352	324	278	352	368				
	非流動資産	2,409	2,355	2,245	2,177	2,119	2,043	1,955	1,870	1,804	1,720	2,634	2,607				
	資産合計	9,242	9,630	9,540	9,651	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958				
	流動負債	5,528	5,715	5,706	5,872	5,833	5,845	5,822	5,852	6,266	6,430	6,161	5,316				
	社債及び借入金	2,676	2,907	2,809	2,666	2,571	2,588	2,574	2,467	2,904	3,030	2,900	2,042				
	リース負債	333	337	351	362	352	368	371	312	232	164	264	448				
	営業債務及びその他の債務	1,209	1,173	1,237	1,447	1,651	1,559	1,557	1,458	1,759	1,798	1,646	1,281				
	その他の流動負債	1,310	1,298	1,309	1,397	1,258	1,329	1,320	1,615	1,371	1,439	1,351	1,544				
	非流動負債	2,588	2,701	2,151	1,935	1,794	1,995	1,862	1,761	1,893	2,172	2,861	2,531				
	社債及び借入金	170	357	356	341	332	697	686	619	820	1,189	1,113	1,083				
	リース負債	460	417	388	337	259	167	92	68	64	42	870	685				
	長期未払金	0	0	0	1,149	1,096	1,044	991	920	833	793	729	705				
	その他の流動負債	1,958	1,927	1,406	108	106	86	93	154	177	149	149	59				
	負債合計	8,116	8,416	7,857	7,807	7,627	7,839	7,685	7,613	8,160	8,603	9,022	7,847				
	資本合計	1,126	1,214	1,682	1,844	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112				
	親会社の所有者に帰属する持分合計	1,036	1,128	1,599	1,844	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112				
非支配持分	90	85	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
負債及び資本合計	9,242	9,630	9,540	9,651	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958					
親会社所有者帰属持分比率	11.2%	11.7%	16.8%	19.1%	18.0%	19.7%	22.3%	24.5%	24.8%	25.9%	24.1%	28.4%					
損益計算書	売上収益	2,924	3,712	3,791	4,161	14,589	3,263	4,011	4,304	4,426	16,004	3,557	4,044	3,879	4,219	15,699	
	音響機器事業	1,878	2,576	2,791	2,823	10,067	2,193	2,798	3,058	2,935	10,985	2,262	2,531	2,537	2,693	10,023	
	情報機器事業	728	842	774	1,005	3,349	710	813	895	1,076	3,493	907	1,108	1,075	1,238	4,329	
	その他	318	295	226	334	1,172	360	400	352	415	1,527	388	405	267	288	1,347	
	セグメント利益	53	344	400	574	1,371	115	533	474	501	1,623	226	485	345	398	1,453	
	音響機器事業	63	324	405	434	1,226	97	448	410	329	1,283	109	265	249	224	846	
	情報機器事業	△33	9	△1	125	100	△17	38	45	103	169	60	76	72	144	352	
	その他	22	10	△4	16	45	36	47	20	69	171	57	144	24	30	255	
	個別開示項目前営業利益	△229	141	140	329	381	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	
	個別開示項目	0	0	329	△202	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	営業利益	△229	141	469	127	508	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	
	税引前当期利益	△259	144	490	△33	342	△167	219	198	231	481	△104	138	182	126	341	
	親会社の所有者に帰属する当期利益	△256	149	486	△78	301	△174	210	187	168	392	△109	140	150	124	305	
	キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	339	44	△124	606	866	△174	△751	△36	808	△153	△485	11	△204	972	294
		投資活動によるキャッシュフロー	△38	△45	△35	△46	△164	△56	△10	△20	△50	△136	△23	△38	△29	△12	△102
財務活動によるキャッシュフロー		△104	352	△188	△374	△314	△203	283	△126	△253	△299	550	352	△242	△992	△333	
フリーキャッシュフロー		301	△0	△159	560	701	△230	△761	△56	758	△289	△508	△27	△233	960	192	

注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2021/03期ならびに2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与える要素としてはこれらに限るものではありません。